

■■■■■火の島と水の島■■■■■

# 屋久島町議会だより

令和6年(2024年)9月10日 NO.67



町民の声カウンター

37

令和3年10月～  
議会だより宛てに届いた意見数

第2回定例会	・・・P2
一般質問 8人が町政をたず	・・・P6
全員協議会 水道代の値上げについて等	・・・P13
町民との意見交換会	・・・P16
【特集】 屋久島町の木育	・・・P18

# 令和6年第2回定例会

6月7日～20日

## 総括質疑

### 定額減税補足給付金の対象は

定額減税補足給付金  
1億5000万円

政府も物価高騰の大変な冷え込みということで、消費の拡大を図るという意味から定額減税について報道されている。本町においても1億5000万円が計上されている。本町においては、対象外の人数はどれぐらいか。



榎光徳

福祉支援課長 対象外については把握はしていない。対象については、2,082世帯見込んでいる。

### 入山協力金弁償金の全額弁済

弁償金 120万円減額

弁償金120万円が減額になっていることについて説明を求める。



大角利成

観光まちづくり課長 弁償金については、令和5年度にこの弁償金が本人から返済されて、全額完済になったことで、歳入の弁償金の減額、それに併せて、山岳部環境保全基金(積立金)の減額を行っている。

※平成31年に起きた入山協力金横領事件の被害金を、本人が10万円/月弁済していたが、令和6年4月に全額を弁済。このことに伴い、弁償金の予算が補正された。

### 今後のコロナウイルスワクチンの接種計画は

感染症対策費委託料  
3325万円

今後のワクチンの接種計画はどのようになっているのか。



大角利成

健康長寿課長 特例臨時接種で実施してきた新型コロナワクチン接種は、令和6年度から予防接種法上のB類疾患に位置づけがなされた。令和6年度は、秋・冬の1回、定期接種で実施するワクチンについて、接種費用が1人当たり大体1万5300円程度かかる見込み。65歳以上の高齢者、60歳から64歳までの基礎疾患を有する方を対象に8300円分を国が助成して町に支給する要領が定められている。そのため接種者の自己負担額は差額の7000円になる。これまで無料による特例臨時接種から定期接種へ移行で生じる被接種者の自己負担を少しでも緩和する措置として、本町からも接種費用を補助することで個人負担をより軽減したい。

※町の補助額は5000円。これによって実質的な自己負担額は2000円となる。



### 提案された主な予算

## 水槽付消防 ポンプ自動車購入 4697万円



平成7年から中央分団宮之浦班に配置している水槽付消防自動車を更新。

## 離島子ども通院費 等助成事業

### 390万円



島内医療機関において、島外で医療等を受ける必要がある子どもの通院費や宿泊費の助成をする事業。

## 牧場の整備 1500万円



町営長峰牧場・旭牧場の施設整備。放牧牛が餌を食べる際に牛を固定するための「スタンション」の更新等を行う。

## 低所得者支援 給付金

### 6350万円



物価高騰への支援として、令和6年度個人住民税が新たに非課税の世帯及び均等割のみ課税世帯を対象に支給される給付金。

### 動画でチェック

本会議の様子を動画で観ることができます

6月7日



6月20日



## 総務文教常任委員会

### 給食センター改修計画は

中馬慎一郎 計画の内容は。

教育総務課長 今回の辺地計画の中には記載はしていないが、学校給食においては今後、施設の老朽化、児童生徒の減少、調理員等の人材確保が懸念されることから、運営委員会等の意見も集約しながら、再編を含め新給食センター建設の協議を進めていきたい。

### 技術職員の退職

中馬慎一郎 技術職員の退職に関連し、有資格者の採用状況と今後の推移について説明を求める。

総務課長 テストセンター方式で募集をかけているが、給与面等を含め差異があるようで応募者が一人もいなかった。技術者が不足する中で、今後は設計等についてはほぼ外注方式にしなければならないと考える。

### 学校の空調の整備状況は

高橋義友 空調施設で540万円を計上しているが、各学校の整備状況は。

教育総務課長 普通教室については全て整備されている。今回は、小学校の特別教室のうち、理科室を6校、来年度は理科室2校音楽室6校の計8校を整備したい。また、中学校については金岳中、岳南中の大規模改修を含め令和5年度で全て終了している。



### 尾之間中央公民館 今後の利活用は

大角利成 尾之間中央公民館の清掃を含め、通常の管理体制について説明を求める。また中央公民館の今後の利活用についてどのような議論がされているか。

社会教育課長 中央公民館の管理人の雇用はしていない。職員が定期的に見に行き掃除をしている。支所跡地の観音会の新しい施設に集約するために解体する計画になっているが、観音会の計画変更の進捗を見守っている状況。

大角利成 中央公民館の車庫の解体に関連し事業実施を踏まえて、当初予算に計上する段階で甘さがある。所管課を含め、財政担当、総務課等で事前に調査や協議を十分に行い、事業を実施して頂きたい。



尾之間中央公民館

### 留学生の寄宿舍管理

高橋義友 企画費の使用料40万円についての説明を求める。

政策推進課長 みらい留学生受け入れの為に寄宿舍借上げで、賃料400万円を計上したが、1棟丸ごとの借上げであり固定資産税や浄化槽の維持管理費用等も使用者である町側が負担すべきであるとの考えから、今回計上した。

※留学生の寄宿舍・・屋久島高校みらいプロジェクトで、島外から入学する制度を設けており、宿舍の不足が課題となっていたため、今年4月より、高校近くの宿泊施設を借り上げて運営を始めている。

## 産業厚生常任委員会

### 水道料金の値上げ

令和6年10月から水道料金の値上げをすることについて、提案がありました。

真辺真紀 町民の方に、水道代の値上げがありますと伝えたところ、すごい値上げ幅だねという声があった。町民の生活に直接、結構大きな影響があるのではないかとこのことを心配している。ただ、その一方で、水道事業の民営化に向けて検討を進めている自治体もあると思う。屋久島町の場合離島なので、屋久島町がきちんと自治体として、管理運営していただけたらと思うが、この事業について、民営化を検討の中に入れて経緯があるか。

生活環境課長 水道事業の民営化について、特段検討はしていない。

真辺真紀 値上げするに当たって、町がきちんとその維持管理、水道の施設の更新等をきちんとしていただけたらという背景があるので、町民の負担はかなり大きくなるが、安心だと思える。屋久島町自体が恒久的にこの水道施設を管理運営していただきたい。

※水道水民営化・・・2018年12月に水道法の改正が行われた。従来の公営制度から、企業が水道サービスの管理を引き継げるようになった。海外では、民営化されたことにより、水道代が何倍にも跳ねあがるといったことが実際に起きている。

### 定額減税給付金の支給は

内田正喜 定額減税給付を支給する時期は。

福祉支援課長 7月中旬、議決後にその対象の方に申請書をこちらから送る。返ってき次第給付に入るとこのことを考えている。あと定額減税は、町民課でやっていく。我々は給付をする。

※定額減税給付金・・・令和6年度分の個人住民税において、定額減税が実施される。その中で、定額減税を十分に受けられないと見込まれる人に対し、その差額を調整のうえ給付を行うもの。

### こども通院費などの助成

令和6年7月より、島内医療機関において、島外で医療等を受ける必要がある子どもの通院費や宿泊費の助成が始まりました。

真辺真紀 県の定めは6往復だと思うが、毎月行けるような形で12往復まで見ていただけたらということでもよろしいか。

福祉支援課長 医師の診断等によってそういう必要があるという場合は、12往復まで見るということで、その分については町の単独(予算)になる。

助成について詳しくはこちらをご確認ください



### 町道の整備

日高好作 安房の中通線の工事費が減になっている。当初予算で、今年度500メートルを整備するというようなことで記憶しているが、500メートル全部やらないのか。

建設課長 中通線については、当初予算で6000万円計上していた。大体350メートル前後だったと思うが、今回、内示額が減額になり、事業費でも1200万円程度減という形で4800万円の事業となる。場所としては、非常に悩ましいところだが、県道からずっと下がってきて実施するのが良いかと考えている。300メートルまでいかないぐらいではないかと見込んでいる。

### 海底清掃の委託先は

渡邊千護 海底清掃のための予算が300万円計上されているが、委託先は。

観光まちづくり課長 屋久島ダイビング事業者組合とか、屋久島観光協会、そういったところに実施を一緒に検討し、協議してほしい。

※海底清掃・・・令和4年度から始まった、海・川・山の繋がりで豊かな屋久島の自然を守るプロジェクト。海底や海岸の清掃活動が行われている。

# 一般質問

16人中 8人が一般質問しました

一般質問とは、議員が町の施策の状況や方針などについて、議会の場で報告や説明を求めたり、質問をすることです。

一人の議員に与えられる制限時間は60分です。  
(一般質問は、議員本人の責任において掲載しています。)

## 動画でチェック

一般質問の様子を、動画で観ることができます。議員の写真に表示されているQRコードを読み込むか、YouTubeで「屋久島町議会」と検索してください。

中馬慎一郎	P
1. 教育支援について 2. 災害時における避難行動要支援者の 避難行動支援体制	6
岩山鶴美	
1. 安房総合センターの今後	7
渡邊博之	
1. 公共施設における管理計画の現状	7
大角利成	
1. 高齢者福祉対策 2. 役場としての職場づくりと働き方改革	8
日高好作	
1. 大規模災害時におけるライフラインの堅持 2. 林道(木材搬出)の整備 3. 県道の整備	8
渡邊千護	
1. 海底清掃プロジェクト	9
真辺真紀	
1. 宮之浦に建設予定の多目的交流センター 2. 安房総合センターの大ホール	9
榎光徳	
1. 新教育長就任にあたっての抱負は 2. 空港ジェット化問題	10

## 教育支援について



中馬 慎一郎 議員

**問** 屋久島高校魅力化プロジェクトの評価、課題、今後の展開をどのようにお考えか見解を問う。

**答** 町長 スクールバス運行補助、教育支援アプリ導入支援、町外高校生受入れ支援は一定の成果が得られている。今後の課題は、高校入学対象者が減少していく中において、クラス数の減少や教員数の調整が検討される状況にあるので関係者と連携し、卒業を控える町内中学生や保護者に対し、町の支援情報を提供していきたい。

**問** 島外者向けの寄宿舎が新たに出来たが、島内にいる子供たちも寄宿舎に入れられないか。

**答** 町長 遠方から通う生徒の為に、寮の必要性は感じている。

**問** 中学、高校の部活動や研究活動においてかかる渡航費の支援に拡充が必要ではないか。

**答** 教育長 中学校については、物価高騰などの影響や熊毛郡内の状況等も見ながら、拡充の可否も含めて検討したい。

**問** 義務教育から高校まで一貫した教育プログラムを町が作っていくべきでないか。

**答** 教育長 現在、検討していないが、風土、歴史、文化等を学ぶ事や、文化系、スポーツ系の部活動における中高の連携を図ることで、中学卒業後も屋久島高校で学びたいという機運の醸成が期待されることから、屋久島高校と協議していきたい。

## 災害時の避難行動要支援者の避難行動支援体制についての見解は。

**問** 町内の要支援者数や要支援者の状況は。

**答** 町長 自力避難が困難な方や要介護3以上等の名簿登録者数397名、そのうち避難行動要支援者97名、避難支援者は151名。

**問** 個別避難計画作成の進捗状況は。

**答** 福祉支援課長 民生委員の協力も得ながら避難行動要支援者97名以外の支援が必要な方の調査を行い、防災無線や広報誌等でも呼びかけをしていき、今年度内の作成をしたい。



岩山 鶴美 議員



### 屋久島町総合センターの今後について

**問** 雨漏りや、排煙設備を修繕しなければ使用できないという状況が長く続いているが、見解は。

**答 町長** 総合センターの改修については、令和5年第2回議会定例会において陳情があり、議会においても議論がなされ、令和6年第1回議会定例会で、議会としての結論を出していただいたところである。屋久島町公共施設等総合管理計画にも示している通り、ホール機能は新施設に集約することとなっている。合併後町内の同様な施設は集約していく方針であることはご理解いただいていると思っている。今後、大規模改修は行わず雨漏り対策等、軽微な修繕にとどめる事としている。

**問** 雨漏りを直しても、排煙設備が古く機能していない為、(ホールに)大勢の人を入れることができないということを知っている。雨漏りを直した後、ホールの使用をどう考えているのか。

**答 町長** 排煙設備をやるには相当なお金を伴うので、それはやらずに、(ホールに)もう人を入れるということはまず考えていない。雨漏りを止めた後でどうするかを今検討している。

**問** 今議会初日に町長は、口永良部島噴火の全島民避難から10年となる来年5月29日を「屋久島町防災の日」と設定し、災害の危険性を考える、防災意識の啓蒙に繋げるんだと言われた。総合センターは安房の避難場所に指定されているが、そのことについてどう捉えているか。現在使用できていない、舞台・緞帳・照明・音響を修繕するにしても(金額が)ピンからキリまでであるが、贅沢する必要はないと思っている。町民が重宝していた場所を、再度使えるように、雨漏りを直し、避難場所としても多目的に使える場にすることも含めて考えていただきたい。私はこの事は大きな問題だと思う。

**答 町長** 合併をして16年目、二つあるものをひとつにする、我慢や辛抱をしなければいけない部分もでてくるのが合併だと思う。いい町を作っていくというのは私の仕事なので、それはやります。やはり順番もあるが、今後どういう風にするのが一番いいのか会議の中で話をし、指示もしていきたい。



渡邊 博之 議員



### 公共施設における管理計画の現状は

**問** 歴史民俗資料館と平内民具倉庫は、令和9年に屋久杉自然館に複合移転するという町長の答弁は、4回を数

えるワークショップの内容とは整合性を欠く根拠のない結論と言わざるを得ない。当該の教育委員会や文化財保護審議会の頭ごなしの進め方にも大きな問題がある。白紙に戻して再検討する必要があるのでは。

**答 町長** なぜそうなったのかは、後で議会に報告したい。この件については今後、教育委員会に委ね、その結果を尊重したい。

**問** 町営住宅の修繕を申入れると、職員から「予算がない」という答えが返ってくるとい声が多く聞かれる。職員は嘘を言っているわけではない。修繕費が合併当初の半分では、予算がないと返事せざるを得ない。住宅は、古くなればなるほど修繕箇所が増えるのは当たり前で、長寿命化計画を早めることで、修繕費も軽減することができる。何よりも住民生活優先の計画見直しを求めたい。

**答 町長** 町営住宅の管理には、これまでも町営住宅専門の大工さんを抱えるなど鋭意努力してきたつもりだ。住民の方々が住むという点では大事な課題だと捉え、今後とも努力していきたい。

**問** 民間会社が分譲販売したところで、道路の未整備状態が続いている。そこには町道認定したくてもできない問題がある。それは道路の名義が会社と土地所有者の共同名義になっていることは、議会で取り上げたとおりである。その後事態は進展を見せ、会社側と話し合いを持ってきた結果、町道使用に限って、会社名義の土地を無償提供したいとする約束を得、近く誓約書をいただくことになっている。このことで、町道認定にのハードルはなくなっているのではないか。

**答 町長** 当然ながら、幅員が4m以上で、流末処理も問題なく、会社が無償提供するという条件が整っていれば、私はいいと思う。



大角 利成 議員

### 高齢者福祉対策について

**問** 令和6年度の高齢者福祉対策の柱は。

**答** 町長 高齢者等バス利用助成事業や老人クラブ高齢者団体への助成事業など、継続して実施します。新たに、シルバー人材センターの設立に向け協議する。

**問** 高齢者団体への活動支援をどう考えているか。増額する考えはないか。

**答** 町長 生きがい活動等大変重要な役割を果たしていることから、運営費の補助等継続して支援したい。

**問** 高齢者等バス利用者助成金を増額する考えはないか。

**答** 町長 現況4割負担となっているが、3割又は2割負担に軽減できないか、前向きに検討したい。

### 役場としての職場づくりと働き方改革

**問** 課長会、職員会議、職員研修会の開催実態は。

**答** 町長 課長会は月1回程度、職員会議は必要に応じて行っている。令和5年度延べ368名が職員研修に参加している。

**問** 所信表明した多様な職員研修にどう取り組む考えか。

**答** 町長 コロナ禍以降、オンラインによる研修が増えているが、今後もニーズに合わせたオンライン研修を軸に取り組みたい。

**問** 職員の中途退職者の実態をどう捉えているか。

**答** 町長 令和3年度以降22名と急増しており、転職志向が多分にあると感じている。更なるスキルアップや新しい挑戦といった目的を持っての退職であることから、全てがマイナス要因とは考えていない。

**問** やりがいを生む、業務管理に向けた人事評価制度にどう取り組む考えか。

**答** 町長 人事評価をコミュニケーションツールとして活用して行きたい。人事評価については目標を共有している。



日高 好作 議員

### 本町全体の電力供給は大丈夫か

**問** 温暖化を受け世界的に大規模災害が発生しているが、電柱の倒壊等への本町の対応は。

**答** 町長 電柱の倒壊等、大規模な災害に関しては、配電事業者3社で設立している、屋久島地区配電組合協議会で協議して解決に向け提案していく。

**問** 九州電力や自衛隊等外部からの支援要請は。

**答** 町長 九州電力とは平成28年6月に協定書を締結しているが、あくまでも配電区域内に限定されるので、協定等について模索していく。九州電力は陸上自衛隊と独自の連携協定を締結している。

**問** 現在の橋梁添架は津波発生時耐えられるか。

**答** 町長 課内で協議を行い、架空線と埋設線の分離が必要との見解であれば、下流側に架空線の分離も検討していく。

### 林道・森林の整備について

**問** 支障木や雑草の除去、大雨で荒れた林道の補修はどこまでが町の範疇か。また規定は。

**答** 町長 日常的なパトロール等を行い、林道の整備計画の中でも年間を通じて補修等の整備を行っている。間伐等に利用する作業道を含む道路の支障箇所の補修は、林道維持管理規定において森林事業者や森林経営に携わる施工業者が管理することになっている。

**問** 利用間伐や主伐の時期が到来しているが、今後の年次計画はどのようになっているか。

**答** 町長 令和6年度から5年間で、民有林325ha、森林公社540haを対象に2万㎡を搬出及び保育を目的とした間伐を実施する計画である。皆伐も年次的に行い、合わせて植林も実施していく。

### 県道の整備について

**問** 雑草対策について県との協議はどうなっているか。また、コスト削減に向けて温水除草も検討すべきではないか。

**答** 町長 常々県道の片側歩道の整備と定期的な除草の要望は行っているが、効果的になっていない。温水除草については、メリット等検討してみたい。

## 海底清掃プロジェクト



渡邊 千護 議員

**問** JTB パブリッシングとは実際に、実費精算するというので見積りを基に契約されたのだから、実費精算しなければいけないのでは。

町の法務専門員の見解は、総価契約だから精算の必要はないと見解に立つべきではなく、見積書に記載された経費と実費に要した経費と異なる場合はきちんと精査し、差額について、それが増だろうが減だろうが精算すべきものである、とされているが、いかがか。

**答** 観光まちづくり課長 今回、この見積書の中で以下精算という言葉があるということ指摘され、担当課としても受託者に申入れをして確認をした。受託者からは、これは総価契約なので精算は必要ない、回答できませんという回答いただいたので、担当課としては対応に苦慮した。

**問** 見積書を基に契約をされている。そこに書いている内容が取り消されるとは、どういうことか。善意で頂いた寄附金を、受託者に丸投げしているのか。

**答** 観光まちづくり課長 今回、総価契約というところで、業務全体としての総額について契約したもので、方法について拘束するものではないという監査結果も出ているので、町としてはその考えを尊重している。

**問** 見積書によると、人件費として合計 308 万円が計上され、主任研究員、研究員、経理担当職員、3名の記載があるが、それぞれの仕事内容は。

**答** 観光まちづくり課長 主任研究員、研究員、経理担当職員というのは、5年度、町が担当課が委託をしている株式会社オーシャナの職員。研究員という名称及び単価については、受託者の社内で受託単価規程を定め、自治体等に見積書を提出する際に使用している名称及び金額。

**問** 主任研究員、研究員について、研究をかたっている以上は、研究した成果物は提出してもらえないのか。

**答** 観光まちづくり課長 研究員ということの名称については、あくまでも受託者の社内で受託単価規程を定めてこの見積書に記載しているもの。また研究書は町の受託の仕様書の中でそういうものを求めている。

## 多目的交流センター



真辺 真紀 議員

**問** 本体工事として 22 億 5000 万円ほど見込んでいるようだが、周辺施設費や関連施設の解体費用などを含めた最終的な総事業費は幾らと試算されているのか

**答** 町長 当施設が完成間近の令和 10 年月上旬に総事業費が明らかになると考えている。

**問** 事業計画を見ていると、とても細かく記載されている。かなり正確な総事業費の試算が、今の段階でできるのでは。町民にもう少し早い段階で公表すべきではないか。

**答** 政策推進課長 あくまでも設計書を作るのは民間業者になる。概算として進めている。

**問** 公共施設再配置ワークショップで、安房校区で参加された方には、総合センターのホールはいずれは廃止します、そして宮之浦に建設予定の文化ホールに集約するという説明したのか。

**答** 総務課長 その中では、廃止するというような方向性の報告はしていなかったと記憶している。

**問** 宮之浦の多目的センターに文化ホールを一本化するということについて、地域住民が十分に理解をしているか。

**答** 政策推進課長 パブリックコメント、住民説明会、ホームページ、町報でも逐一情報提供してきた。その中で住民の合意形成は得られたと。場所についても、施設の在り方についても、反論することの意見がなかった。

## 安房総合センターの大ホール

**問** 排煙設備が壊れているから人が立ち寄れないという大きなフロア(大ホール)が存在するというのは、建物の管理としては非常にまずいことだと思うが、いかがか。

**答** 町長 大ホールとして使用をしようという考えはない。危険家屋ではないようにする。

**問** 建物として危険なので、修繕するのは当たり前の話。ホールの在り方について、棚上げして、大きなホールをほかに造ると言われても、なかなか賛同は得られないのでは。

**答** 町長 雨漏りと排煙の修繕をして、近いうちにホールをどう使うかをお示ししたい。



榎 光徳 議員

新教育長就任にあたっての抱負は

**問** 青少年教育、とりわけ児童・生徒の不登校やいじめ、ヤングケアラー、スマホの取扱い等どう考えているか。

**答** 教育長 各学校からの報告を受けているが、経過観察を義務付け、継続した見守り指導等を行っている。又、ネグレクトやヤングケアラーについては、学校からの情報収集を含め、福祉支援課や地域包括センターとも連携した対策を講じている。

**問** 具体的にはどのような事を行っているか。

**答** 教育長 スクールカウンセラーやソーシャルワーカー等を設置し、児童・生徒の悩みを把握し改善につなげたい。又、スマホ利用については「屋久島ルール」を遵守させる為、保護者やPTAを中心に情報モラル・リテラシーの育成・啓発を図りたい。

**問** 屋久島高校の位置付けをどう考えているか。

**答** 教育長 屋久島の伝統と歴史が引き継がれており、島内唯一の最高学府であると捉えている。

**意** 生徒数の減により、クラス減が危ぶまれている中、町からの魅力化プロジェクトにより、大きな支援を受けているが、少子化対策等も見据えながら、中高一貫でなく小・中・高のつながりとして早くから対策を打つべきである。

空港のジェット化はいつになるのか？

**問** 調査費として予算化はできたが、これからが正念場。総事業費 169 億円で、事業期間 10 年となっているが、今後のスケジュールは

**答** 町長 工事着手に向けた国の許認可手続きが始まるが、まずは用地取得が大きな鍵であり、町としても最大の協力支援を行っている。

**問** 今回の全国離島振興協議会会長再任も合わせ、国との大きなパイプを生かし、不退転の決意で取り組んで頂きたい。又、県の取り組みを強化していく為、「対策室」のようなものを設置してもらいたいとの事であったが、いかがか。

**答** 町長 全体予算の 2 割は県が負担する為、県知事へも「屋久島空港対策室」を作ってくださいと直訴している。

請願・陳情

第 2 回定例会に提出された請願は 1 件でした。

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げ、複式学級の解消を図るための、2025 年度政府予算に係る意見書採択の請願

- ・学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するための、加配教員の増員や、少数職種の配置増など、教職員定数改善を推進すること。
- ・特別支援学級在籍の児童生徒が急増し、交流学級での授業の際には 40 人を超える状況が常態化しているため、特別支援学級在籍の子どもを交流学級でも在籍児童生徒数として数えること。

他

数名の委員より、これまでも類似の請願が出てきていたが、今回は特別支援学級についての項目が追加されている。他の項目についても、十分に理解できることでもあり、我々自身も調査をしながら更に理解を深めるべきである等の意見が出された。

総務文教常任委員会で採択、最終本会議→採択

上記請願が採択され、最終本会議にて意見書案が提案されました。

意見書案 全会一致で可決



# 6月20日最終本会議

反対

## 給水条例の一部改正 可決

10月から水道料金の値上げをするにあたっての、条例の改正案に対する討論がありました。

### 討論

#### 賛成

中馬慎一郎 水道インフラの整備に関しては、水道使用者の義務であるという原理原則がある。その中で、料金が上がるということに対してのこの維持管理は、今の現役世代が責任を持ってしなければいけないと思っている。これを先延ばしすることは人口がこれからどんどん減っていく我が町にとって、若い世代への負担がますます大きくなって広げてしまうことになりかねない。答申書の付帯意見の中に、また周知機関や町民への理解を求める丁寧な説明という文言もあるので、賛成したい。

渡邊博之 私が昨年暮れから追及し、反対してきた水道料金の値上げが現実になり、しかも一気に25%という大幅値上げに至ろうとしていることは極めて残念。

当初から主張してきた値上げ反対の理由は、第1に、とどまることを知らない物価高の中で、町民の暮らしは最悪の条件下にあります。とりわけ低所得者層や零細の事業者にとって、この値上げはさらに生活苦に拍車をかけることになることは間違いない。第2は、今議会でも裁判の報告があった水道事業をめぐる問題はいまだ未解決であり、昨日の今日の値上げは、住民感情を無視した無神経な一番やっではない政治であることを強調したい。第3に、赤字は町民がつくり出したものではなく、独立採算を主張しながら採算を無視した事業計画先にある行政運営にあることは明白で、民間企業では倒産に当たる考えられない運営だということ。加えて、今回は引き続きいまだ20億円近い財調で補填しながら、その計画の見直しを図り、赤字を解消していくという提案こそ選択すべき道であったという私自身の確信から反対する。

## 常任委員会現地視察

### 産業厚生常任委員会

6月12日産業厚生常任委員会の委員で、長峰牧場、長峰水源地の2か所の現地調査を行いました。



令和6年4月15日の大雨の影響で  
山腹崩壊した長峰の水源地付近



放牧牛が餌を食べる場所  
繋ぎとめる「スタンション」が老朽化しているため更新予定

# 議員の賛否

## 令和6年6月定例会 審議した議案とその結果

6月7日(金)	開会
6月10日(月)	一般質問：中馬慎一郎、岩山鶴美、渡邊博之、大角利成
6月11日(火)	一般質問：日高好作、渡邊千護、真辺真紀、榎光徳
6月12日(水)	常任委員会(総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会)
6月19日(水)	全員協議会
6月20日(木)	最終本会議

	結果	渡邊 浩	内田 正喜	小脇 淳智郎	中馬 慎一郎	真辺 真紀	相良 健一郎	岩山 鶴美	渡邊 千護	榎 光徳	緒方 健太	高橋 義友	日高 好作	岩川 俊広	渡邊 博之	大角 利成	石田尾 茂樹
財産の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
屋久島辺地総合整備計画の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
家庭的保育事業等の整備及び運営に関する基準を求める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
給水条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
令和6年度一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度介護保険事業特別会計「補正予算(第1号)」	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度船舶事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度電気事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
簡易水道事業の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度負担率の引上げ、複式学級解消をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※議長は議事進行を行うため、原則として賛否の表明はしません。

# 令和6年第3回全員協議会 5月31日

## 大雨での長峰浄水場取水口 付近の土砂崩れ

榎光徳 浄水場等も含めて配管、給水口から集水口などの耐震の検査や調査はしているのか。

生活環境課参事 耐震化については、今事業計画を長期振興で作り、年度計画で各施設ごとの浄水場及び導水管についての耐震化を計画して順次行っている。ただ、今回の長峰については、完全な山腹崩壊で、これは予期できなかった。このままの状態だと長峰地区に今から空港の延伸計画等もあって、今後いろんなもの(施設等)が増えていくだろうということもあり、安定供給をしよう。安定供給を目指すためには今の水源より下流域にポンプを据えることで、量的にも確保できると思う。

## 生活環境課からの説明

4月15日の大雨により、長峰浄水場取水口付近で土砂崩れが発生し、それに伴い、導水管が破損した。平野部については水圧が弱くなることはあったが、断水はせず、一部高台で数軒断水した。4月22日には復旧した。

真辺真紀 高台で一部に影響があったとの説明であったが、聞くところによると、高台でないところも影響があったように聞く。実際に、お店などでも大変だったと聞いているが。

生活環境課長 平地の部分では圧は弱かったが、水は供給をされていて、給水車を使って浄水場に水を送る作業を4日間程度していた。その関係で圧は弱かったが、水の供給は出来ていたと思っている。

真辺真紀 お店の営業にもかなり支障があったようなこと聞いている。なので問題があったのか、なかったのか、また調べていただきたい。

## 屋久島町給水条例の一部改正 (水道料金の値上げ)について

### 生活環境課からの説明

・水道施設の老朽化が顕在化しており、今後さらに進行する見込みがあることから、施設の更新を適切に実施することが最重要課題となっている。

・令和2年度から、公営企業として運営を開始し、独立採算性を維持することが原則となっている。基本的に水道料金による収入を財源を基に経営していく必要がある。

・人口減少、資材価格の高騰等があいまって水道事業収入は非常に厳しい。不足する財源については一般会計からの補助金等で補填をしている状況。令和2年から4年間の平均が8000万円を越える見込み。

・水道事業評価委員会からの答申を受けて、検討会をひらき、水道料金を適正水準額に改正することを目的に今回の条例改正案をすることになった。

### 屋久島町水道事業事前評価委員会が 令和6年3月21日に出した答申の内容

・町水道事業における今後4年間の水道料金の適正水準は1年度あたりおよそ3億円。

・水道料金の改定額は、一般用については、基本料金を300円、従量料金を24.7%、船舶については、基本料金を500円、従量料金を40.0%引き上げることが適当である。

渡邊博之 実際の値上げの時期としては6年10月分からのこと。答申書には、その間に町民に理解が得られるように丁寧な説明周知に努められたいという意見が付いているが、これは具体的にはどんな形でやるつもりか。

生活環境課参事 町報を活用し、水道コラムを2月号から4回にわたって掲載した。まず水道がどのように成り立っているのか、なぜ料金が必要なのか、なぜ屋久島町はこの程度の経費がかかるのかというところを周知をした。

# 令和6年第4回全員協議会 6月19日

## 平内民具倉庫・歴史民俗資料館の今後

政策推進課からの説明・・・平内民具倉庫、歴史民俗資料館ともに、長寿命化改修及び建替えの時期が来ている。屋久杉自然館に隣接整備することで、環境省世界自然遺産センター及び屋久島文化研修センターとの連携を強化し、利用者ニーズに応えた施設整備を図る。令和9年に集約、10年に解体の計画。



平内民具倉庫

集約化



屋久杉の館



集約化



歴史民俗資料館

**大角利成** 建物は大変古い。説明では令和10年度までにとのことだが、建物の耐震の調査はしているのか、その結果はどうなっているのか。

**財産管理係主査** 平内民具倉庫については、令和2年度に公共施設等個別計画を作成する際に、担当課が劣化状況調査ということで、各施設を回ってクラックの状況や、老朽化の状況という施設の調査を行っている。専門の業者による耐震の調査というのは行っていない。

**大角利成** 令和10年度までにとのことです計画どおりいけば良いが、後3、4年ある。建設から50年以上経っていて、非常に危ない建物だと思うので、関係者が入ったときに事故があっては困るので、安全には万全を期していただきたい。

**中馬慎一郎** 平内民具倉庫、歴史民俗資料館には、かなりの展示数、倉庫にも在庫があると思うが、全て予定どおりに施設に収まるのか。

**政策推進課長** 今の状況でいうと歴史民俗資料館のほうには収蔵ができない、いろいろなものがあるということで困っているという話は聞いている。建物が老朽化が進んでいて事故がある可能性もある。実際建築年度で60年ということで、早く方針を決めたい。移転が可能なのか、必要な整備をして収納をする。工事が必要なのかということも含めて、社会教育課のほうで検討して欲しいと考えている。予定では屋久杉の館のほうに移転をするようにしているが、必要な収容するための整備も含めて集約複合をする計画をしているので、スペースが必要ならば工事が必要ではないかと考えている。

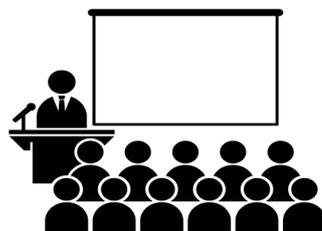
**日高好作** 屋久杉の館は増築等はせず、既存の建物内で収まるようにするということか。

**政策推進課長** 屋久杉の館に平内民具倉庫の収蔵物、歴史民俗資料館の収蔵物も含めて集約をしていこうと。館の中に歴史民俗資料館と平内民具倉庫の機能を一つにまとめていきたいというふうに考えている。今の計画では平内民具倉庫の建物は除却する方向。屋久杉の館に必要な整備、収蔵に必要なスペースが必要であれば工事が必要なのではないかと考えている。

**日高好作** 屋久杉の館に収まる範囲で集約するのか、増築の必要性などの方針は。

**政策推進課長** 方針は、教育委員会のほうで決定を頂く。政策推進課としては、今の現状で収納してもらいたいと思っている。

# 活 動 報 告



5月9日、鹿児島市にて議員研修に参加しました。

「変動する国際情勢と日本の課題」同志社大学法学部教授 村田晃嗣氏  
主にロシアウクライナ戦争とパレスチナ問題、アメリカ大統領選挙に関連した内容でした。

「リーダーが知っておきたい健康の常識・非常識」医学博士 福田千晶氏  
講師ご自身の経験や患者さんとの出会いに基づく内容の話が主なものでした。

6月19日に開かれた特別委員会の内容をお知らせします。

## 交通対策調査特別委員会

・令和6年2月13日から15日にかけて交通対策調査特別委員会の所管事務調査を実施した。2月13日に県の交通政策課長、海上交通係長、日高県議の同席をいただき、鹿児島市で意見交換をした。14日は熊本空港の視察をした。

熊本空港については、鉄筋コンクリート造りだが、肥後杉を使っているということで、これからの屋久島空港のターミナルビル建設にも参考になると思う。

・来年の9月（議員の任期）まで本特別委員会を継続するという事について、フェリーや高速船の課題があるので、継続して取り組むということを決めた。

## 屋久島町の交通の安全性と利便性向上 対策調査特別委員会

・尾之間バス停増設(Aコープそば)については、昨年度、屋久島交通さんをお願いした際に、前向きな返答をいただいているが、具体的に話が進んでいない状況。

→できない理由をきちんと問うなど、町民の立場に立って要求した方が良い、との意見があった。

(町民からの意見) ※複数あるので抜粋

・空港から役場の間のバス停。宮之浦から安房に向かっていく道路のバス停が草むらになっていて、特に雨の日に待っている人たちを見ると非常にかわいそうだという意見があった。

・小瀬田診療場にバス停があるが、役場に来る利用者の方に利便性の良いバス停があっても良いのでは、という意見があった。

## 議員の呼称の見直しをしました

### 「君」から「議員」へ

議会で議員の呼称について、〇〇君を改め、〇〇議員とすることが、議会運営委員会で提案され、9月定例会から運用されることに決定しました。



# 町民との意見交換会を開催しました

7月21日に「特別支援や分教室等を考える会」の方々と意見交換をしました。

参加者：会場 13名、オンライン6名、代読2名 計21名  
議員 15名

障害のある方のご家族、教育現場等からの現状の報告、要望など、多岐に渡り具体的なご意見をいただきました。その一部を掲載させていただきます。

## 医療ケアが必要な 子どもための医療体制整備を

医療ケアが必要なお子さんが、医療体制が整っておらず帰って来られないという話もある。医療体制だけでなく、訪問看護、日中預かる場所やレスパイトのため何日間か預けられる地域の体制整備などが必要。

## 町全体で特別支援教育に 対する啓発の充実を

子育てに困っている親、困っている事に気づいていない親や子どももいる。早めに気づき、対応することで環境だけでなく、人にもやさしく暮らしやすい屋久島になると思う。

## 屋久島町にも 支援学校分教室を

同じ離島なのに種子島にはあって屋久島にはないなんて屋久島に住んでいると損だな…と思ってしまうのも事実。この不平等さをなくすためにも小中学校支援学校分室は必要だと思うので要望したい。

## 町全体で 持続可能な福祉体制を

最近では、重度の障がいがあってもこの島で我が子と一緒に暮らしてゆきたいと就学時に屋久島の小学校を選択する保護者が増えてきた。この島で生まれた誰もが安心して暮らし、親亡き後も安心して地域の中で最期を迎えることができる町づくりをお願いしたい。

## 就学・進学早めの 見学や体験面談を

就学・進学に不安をもつ子ども・保護者にとって、貴重な活動であることを御理解いただき、町全体として、積極的な実施を継続していただきたい。

## 安心して通学できる サービスの策定を

障がい者手帳を持つ、スクールバスを一人で利用することができない生徒で、現在保護者が登下校を送り迎えしている家族のサポートについて、県教育員会と連携した福祉サービスを策定して欲しい。

具体的な事例を紹介いただきながら、お話を伺いました。教育、医療、福祉など、課題が山積しており、町全体での深い理解と、丁寧な取り組みが不可欠だと痛感した会でした。



直接会場に来られない方も、オンラインで参加していただきました。

## 7月24日に教育委員との意見交換をしました。

参加者：教育長、教育委員4名、指導主事3名、社会教育主事1名  
教育総務課長、社会教育課長 議員・・・総務文教常任委員8名

### 特別支援教育の共有体制は

**議員** 各学校の中で特別支援教育に関し、学校内での職員会議等で考え方の共有や議論はどの程度されているか。学校側から教育委員会や行政に対しての要請というのは、どのように教育委員会に伝わり各学校に返されているか。

**教育委員会** 特別支援コーディネーターも各学校におり、校内に支援委員会というのも設置している学校が多く、その中で特別支援の指導について共通理解をする場を設けている。就学相談等学びの場を変更する場合、学校から事前に上がってきて、来年度等の検討事項として、教育委員会を開催している。回数については学校によりけりである。

### 特別支援学級と普通学級の選択

**議員** 教育基本方針の中に、特別支援教育への文言が出てきていない。基本方針に謳う必要があるのではないかと。特別支援学級通級指導教室の学校別の在籍者数は年々増えているが、特別支援学級と普通学級への選択について考えを教えて欲しい。

**教育委員会** 特別支援に対する検査のハードルが変わってきて、子どものより良い学習環境を作るために特別支援学級と普通学級に通う選択が改善されてきた。特別支援への保護者の理解が以前より進んだと思う。ウェクスラー式知能検査の児童版である発達検査のWISCⅢ（5歳～16歳の児童・生徒を対象とした代表的な知能検査）を実施して診断検査が細かくなっており、発達段階として認定されることが増えてきている。そういった結果を含め、特別支援学校学級への理解も進んでいると思う。

**議員** 特別支援学校を目指すという方向性も含めながら、今後もこのような検討会を重ねていければと思う。

### 特別支援体制の遅れ

**議員** 別途行った「特別支援教育や分教室等を考える会」との意見交換では、種子島と屋久島を比較して、屋久島は特別支援体制について相当遅れているし、施設も少ない等の意見があった。今以上に良くしたいという現場の先生方の考え方と受け取っている。

**教育委員会** 全体を把握している訳ではないが、概ね特別支援に関する体制というのは整っていると言いがたい状況にあると思う。地理的な状況を考慮しても特別支援学校の設立を目指すということを町民、議員、町長が気持ちを一つにして県に対して声を上げていくことが必要でないか。特別支援学校の設立についてはかなり前から、県に陳情が出されている。今後も陳情を続けて、県に訴えかけていく必要がある。特別支援を要する児童生徒が増えているので、我々のほうからもアクションしていきたい。



教育委員との意見交換のようす

その他、不登校児童生徒、スマホの使用、あいさつ運動についての意見交換を行いました。

# 特集 屋久島町の 木育 もくいく

## ～木育とは～

子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と木や森の関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む活動のこと。屋久島町では、令和3年から新生児への木材製品贈呈事業を開始しており、木育インストラクターが、町内の保育園や幼稚園などで木育教室を開催したり、子どもたちに木の魅力を伝える取り組みなどが展開されています。

原地区で運営されている、放課後児童クラブ『山ん子の舎』にて、令和6年3月26日、27日に行われた木育の様子です。

講師は木育インストラクターの福島晃さん。映像を使って、福島さんの活動の紹介があったあと、子どもたちは、実際に木に触れて、作品を作りました。



## 自然 × 教育 × 産業



個性あふれる作品を手に、記念撮影。  
木の板と細かいパーツを組み合わせることで  
いろいろな表情が現れました。

今回、ご紹介するのは



ふくしまあきら  
木育インストラクターの福島晃さん

屋久島町木育推進事業の木育活動で活躍されています。令和5年度は、八幡幼稚園、神山小学校、中種子特別支援学校・屋久島支援教室、放課後児童クラブで木育をされました。

各教育施設等で行われた  
木育の様子が掲載されているブログです。  
是非、こちらをご覧ください。





説明を受けながら、器用に細かいパーツを打ち付けたり、ボンドづけする子どもたち。表情は真剣そのもの。



どのような作品を作りたいのか、イメージを図面や口頭で伝えて、細かい加工を注文する子どもたち。福島さんの手元に視線が釘付け。

福島さんに  
木育インストラクターの  
活動に対する思いなどを聞いてみました。

- ・屋久島町でインストラクターを養成（人材育成）し、屋久島の木育を推進していけたら良いと思います。
- ・多くの島民の皆様（子供から年配の方まで）に木育をとおして、人や木を含むいきものを育ててくれる自然について一緒に考えていきたいと思っています。

## 屋久島町の取り組み



### 木のぬくもりに触れ育つ

令和3年度から始まった、新生児への木材製品贈呈事業。記念品は数種類あり、好きな物を選べる。

贈呈事業は、2019年に始まった林野庁の（森林環境譲与税）を活用した林業・木材産業の振興や森林環境の整備を行う事業の一環。

屋久島町には、木育インストラクターが6名いらっしゃいます。

### 令和6年度の、木育のための予算

- ・木育インストラクター普及事業 250万円
- ・新生児への木材製品贈呈事業 80万円

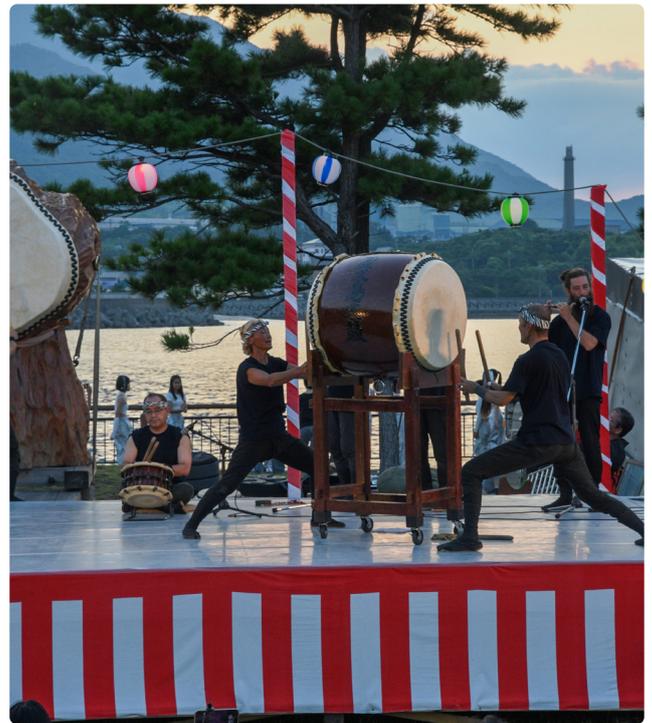
## 町民の声

### 【ご指摘いただいていた内容に関すること】

- ・議員の欠席理由を掲載していただき、ありがとうございました。
- ・色付けした範囲の囲みにぴったりになるようにまとめられていて、とても読みやすくなりました。

### 【新たなご意見】

- ・(前号の)P.2「学校給食センターの事業計画」が左右にまたがるのが分かりにくい。
  - ・(前号の)P.3「海中環境保全等事業」にある「グリーンフィンズ」もP.4のように注釈が必要ではないか。
- 等、他にもご意見を複数いただきました。  
ありがとうございます。



ご神山祭りのひとこま「益救神太鼓」

## 議会の動向

日付	内容
6	20 第65回県体熊毛地区大会屋久島町結団式
	23 屋久島町芸能祭(離島開発総合センター)
	24 屋久島エコツーリズム推進協議会総会
	25 屋久島観光協会定時総会(安房公民館)
7	17 札幌市議会公明党議員会視察
	18 屋久島土埋木対策協議会
	21 町民との意見交換会
	22 屋久島高等学校振興支援委員会
	23 屋久島空港利用促進協議会総会
	24 町民との意見交換会
8	1 市町村研修会(鹿児島市)
	2 熊毛郡町議会議長会臨時総会(鹿児島市)
	7~9 総務文教常任委員会所管事務調査(福岡市・北九州市)
	20~22 産業厚生常任委員会所管事務調査(日田市)

### 編集後記

夏の終わりが近づき、屋久島の自然も少しずつ秋の気配を感じさせるようになり、朝晩の涼しさが心地よく感じられるこの季節、皆様はいかがお過ごしでしょうか。今年の夏は、例年に比べて特に暑い日が続きましたが、その分、海や山でのアクティビティを楽しむ機会も多かったのではないのでしょうか。私自身も、屋久島の美しい自然を満喫し、リフレッシュすることができました。これから訪れる秋は、紅葉や収穫の季節です。屋久島の森が色づき始める様子を楽しみにしつつ、皆様と共に新たな季節を迎えたいと思います。

内田正喜

## ご意見募集

広報委員会では、町議会に対する皆様のご意見を募集しています。生活のお困りごとや、町政への提言、取材の申し込み等、以下の方法によりご連絡ください。ご氏名、ご住所、ご連絡先、ご意見等の内容が分かるようお願いいたします。

郵送：〒891-4207 屋久島町小瀬田 849 番地 20

メール：gikai@town.yakushima.kagoshima.jp

「議会事務局」までお願いします。

## 議会を傍聴しませんか

次の定例会の予定は

9月 6日 開会

9月 9日～ 一般質問

9月 20日 最終本会議

※都合により変更となる場合があります。